

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

器具・備品・・・定率法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
銀行預金・定額預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
国際会議準備金	11,000,000	1,000,000	1,000,000	11,000,000
小計	11,000,000	1,000,000	1,000,000	11,000,000
合計	31,000,000	1,000,000	1,000,000	31,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
銀行預金・定額預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
小計	20,000,000	(0)	(20,000,000)	(0)
特定資産				
国際会議準備金	11,000,000	(0)	(11,000,000)	(0)
小計	11,000,000	(0)	(11,000,000)	(0)
合計	31,000,000	(0)	(31,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はございません。

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収金	557,375	0	557,375
合 計	557,375	0	557,375

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額の残高

該当事項はございません。